

Sofia-san (2026) by Ozawa Atiko. Original from Grace Design Co., Ltd. Digitally enhanced by herself.

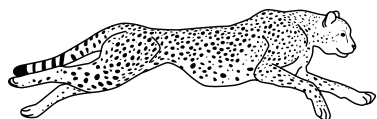
巻頭言

探求のドアを開けたら、そこは人形町でした。どなたさんも、ソフィアさんも、新オフィスにいらっしゃるい。

ソフィアさん、いらっしゃるい!



昨年秋、ソフィアは麻布十番から人形町に引っ越しました。ただ住所が変わっただけ……ではありません。新しい街に迎えられ、取材陣がやってきて、お客さまが集い、メンバーがこの四半世紀を振り返り、外部パートナーと肩を並べて手を動かす。気づけば、小さな「いらっしゃい」が重なっています。今号は、ソフィアに起きた“ウェルカムなできごと”をご紹介します。



人形町にいらっしゃい！

古き良き商いの気配と、新しい働き方がご近所同士で暮らす街・人形町に、ソフィアは新しい拠点をかまえました。オフィスの入口で出迎えるのは、壁一面のグリーンと社名プレート。ウェルカム・トゥ・ザ・ジャングル！その奥で、打ち合わせも撮影もワークショップも立ち話も、偶然の出会いも起こります。とすると、これは今号表紙の絵画よろしく、引っ越しというより、ソフィアがまた少し外へひらく、その合図だったのかもしれません。

26年目にいらっしゃい！

実は2026年、ソフィアはめでたく25周年。社内ですっきり行われた記念イベントでは、廣田社長がメンバー一人ひとりへ感謝のコメントを読み上げました。「突き詰めて考える姿勢」「背中を預けられる存在」「ソフィアの熱源」「守り人」「番人」、果ては「マッドクリエイティブ」まで。言葉はいろいろでも、どれも一人ひとりの仕事ぶりや人柄をちゃんと見てきた人の言葉です。笑いが起き、少し照れる人もいて、ときにしみじみ。締めくくりに、創業メンバーの山口さんから廣田さんへ、「25年間、お疲れ様です！」。ソフィアの始まりは、埼玉は戸田公園のマンションの一室。会社名を決め、ドメインを取り、法人登記へ向かったあの日から、物語は今へ続いています。25周年はゴールではなく、26年目の入口なのです。



仁王立ちしているのが噂の「マッドクリエイティブ」

カンファレンスにいらっしゃい！

2026年2月20日、第4回ソフィアカンファレンス開催。テーマは「偶発的・業務外コミュニケーションで本当に働きやすくなるの？」。独自の「インターナルコミュニケー

SOFIA

アマナさんいらっしゃい！ (事例取材に)



特集の冒頭を飾る一枚——ソフィアの社名プレートの両脇に立つひろいさんとやまはさん——は、実は取材を受けたときの写真です。撮ってくださったのは、写真・映像のプロ集団アマナ社。同社のオフィス紹介サービス「インフォ」の利用事例として、ソフィアを取材にいらっしゃいました。ふだんは取材する側の私たちにとって、取材される側にはまわるのは、なかなか新鮮でこそばゆいもの。しかしプロに撮ってもらった写真は、大変素敵なおものでした、せっかくなのでここで紹介します。

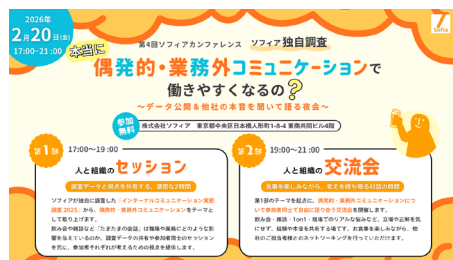
取材の内容は、アマナ社の事例紹介ページからどうぞ。

▼アマナ社・インフォ [事例紹介ページ](#)



何話してこんなに笑かしたのか覚えていません

「シオン実態調査2025」をもとに、飲み会・雑談・1on1といった“たまたまの会話”に光を当てました。第1部はデータと視点を交わす「人と組織のセッション」、第2部は食事をはさんで語り合う「人と組織の交流会」。正解を急がず、各社の悩みも工夫も本音も持ち寄る時間になりました。来場者アンケートは、回答者全員が「満足」。「テーマが数値化され、議論しやすくなった」「少人数だから本音で話せた」と、うれしい声が並びました。



企画・運営はソフィアの若手営業2人が担当しました。うちの1人・松井さんはこの後専任職に就きましたが、お元気ですか。P6のグルメコーナーにも登場いただいております。

ワークショップにいらっしゃい！

新オフィスでは、外部の方をお招きして、一緒に手を動かすワークショップも始動しています。第1回はグレイスデザインさんの「消しゴムはんこでソフィアさんをつくろう」。同じソフィアさんを彫っているはずが、できあがりは全員バラバラ。そろっていないからこそ、その人らしさがにじみます(ちなみにこのとき作られたハンコは次ページの人形町グルメマップのあちこちに潜んでいます)。この日、代表の小澤さんからソフィアさんの絵画も頂戴しました。そう、今号の表紙を飾っている、あの作品です。



グレイスデザインさん、島根は松江からはるばる、ありがとうございました！いただいたソフィアさんの絵も素晴らしいです。

第2回はおっちゃんさんの「つくるをほぐす」。手元を見ずに相手の似顔絵を描くセッションで、場の空気は一気にやわらかく。後半は「今までで一番おいしかったもの」をちぎり絵で表現。並んだ作品は、料理というより、その時の気持ちや風景まで貼り込まれていました。つくって、話して、笑って、思い出して、少し仲良くなる。そんな時間が、さらにこの場所から生まれていくとよいですね。



テーブルに広げられた「今までで一番おいしかったもの」

人形町に迎えられたソフィアは、少しずつ、誰かを迎える場所になってきました。お客さまも、パートナーも、会社の仲間も、はじめましての人も。

どうぞ、ソフィアへ。いらっしゃい！

人形町グルメマップ

ソフィアオフィスの近くで、メンバーおすすめのお店

★ マップはイメージです(笑)。正しいお店の位置はこちらのGoogle Mapから→



※ 2026年4月現在。当グルメマップは今後もアップデートしていく予定です！

Onozawa

会社まで来てにんにく料理食べる覚悟がある人はいないと思うので、にんにく好きな小野澤が行きます。店名ガーリック×ガーリック、大盛ペロンチーノ、ガツンとうまい。誰の迷惑にならぬよう直帰します。お疲れ様でした。



Matsui



「サンドウィッチパーラー まつむら」街のレトロなパン屋さん。美味しいのはもちろんのこと、雰囲気どこか懐かしい。大正10年(1921年)創業100年以上愛される老舗の中の老舗。※元メンバーの松井さんから寄稿いただきました。

Okada

豆腐屋料理店 四方八方(ヨモヤモ)の汲み上げ豆腐定食。店内の工房で作っているお豆腐は、何もつけなくても味が濃くて美味しい！胃が浄化されます。お値段は少し張りますが、たまのご褒美にリピートしたいです。



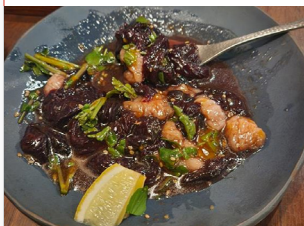
食 在 叡 知

食はソフィアに在り

ソフィアメンバーの
人形町グルメ集

Tsugawa

人形町のとある獣肉屋。鴨にいのしし、鹿といったベシクなジビエに加え、熊と月の輪熊の食べ比べなど、希少なメニューが居並ぶ。写真はトドのユッケ。獣というより鴨の香りが強い、癖のある風味で旨い。なかなか出会えない獣肉をぜひ。



Hashimoto



即席だろうが生ラーメンだろうが、好きな具材を入れて好きな硬さに茹でられるおうちラーメンが至高、と考えていました。が、いつぞや空腹に耐えかねてウツカリ入店してしまった三豊類さんの味が忘れられません。あれは美味しかったなあ。

Tamayama

西洋料理「来福亭」のハヤシライスです。メニューにあれば、つい注文してしまう料理の一つで、オフィスのそばにある老舗の洋食店で提供されているのが、とてもうれしい。シンプルで飽きのこない、ほどよい味わいは、ランチタイムの至福の一皿です。



バねえな!

そふいあ いきもの事典



勇逸無二の情熱のロジカルファンタジスタミッチャン



ミカミアキヒロはソフィアの中で一番ロジカルが強く、熱いパッションを持っているいきものである。そして、誰よりも仕事や関わるお客様、ソフィアのいきもの、ソフィアそのものについて想いはせ、考え抜いている生き物である。そんなミッチャンのため、たまにロジカル詰めをされて怖いと思うひともいるかもしれないが、実はかわいらしい笑顔とキュートなキャラクターで話せば話すほど、魅力が増すいきものである。

趣味も多彩でバスケットやテニス、マラソン、サッカー観戦、ライブ観戦 (ROCK好き / イエモン LOVE) だったり、話題の引出しも豊富である。そんないきもののため、頼りがいも MAX であり、信頼のおける数少ないいきものであり、社内でも頼りにしている人が多く、頼れるお兄ちゃんである。会社に趣味に家庭に邁進しているミッチャンを皆さん御最属に!

profile



桜木目
木暮科
三井属

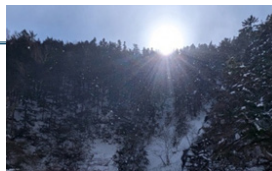
名前 ミカミアキヒロ 原産地 山形 生地地 クレヨンしんちゃん
愛称 ミッチャン、ミカミさん イメージカラー 紫
鳴き声 それってさあ ○○してもらって良い?



相変わらず山には定期的に行っています

…と言いたところなのですが、さすがに寒さとコンディションの冬は少しペースが落ちています。とはいえ、せつかくの冬なので、先日ちょっとだけ雪山にスノーハイクへ行ってきました。普段の山とは全然違って、まず景色が真っ白でかなり新鮮でした。音も少なく、全体的に静かで、これはこれでいいなと。ただ、その分しっかり準備しないと普通に危ないの、いつも以上に装備やルートを意識する必要があって、「気軽さ」はだいぶ減ります。実際に登ってみても、雪で歩きづらいし、体力の消耗も早いで、いつも以上

(文・写真 三國 純)



に無理しないこと」が重要だと感じました。一方で、やること自体は結局いつもと同じで、「一歩ずつ進む」しかありません。むしろコンディションが厳しい分、「焦らず進むこと」とが準備の大事さとか、普段よりも分かりやすく実感できた気がします。この辺りは仕事にも共通する部分は多いです。冬の間はなかなか気軽にには行けませんが、その分、春になってからの登山が今から楽しみです。また暖かくなったら、いろいろな山に行こうと思っています。



志賀です。

(文・写真 志賀 海)

入社してからは慣れない環境のなかで仕事に向き合う日々でしたが、こちらに来てからというもの、何か趣味を見つけないと思うようになりました。最近ではソフィアメンバーに趣味を聞いているのですが、皆さんアクティブな趣味を持っていて、いいなと思いつながり聞いています。そんな中で、最近では趣味というか、楽しみが二つほど増えました。一つは焚き火です。近くの川に焚き火OKの場所があるので、久しぶりに焚き火をしてみました。田舎で育った自分にとって、川や海辺で焚き火をして遊ぶのは学生時代の遊びの一つでもあったので、懐かしさもあり、とても楽しかったです。もう一つは海です。横浜市に住んでいるので、去年は15年ぶりに海に行ってきました。泳げるかなと少し不安もありましたが、意外と昔の感覚は残っていて、素潜りも

できました。最初は、東京の近くでの暮らしは田舎と違って少し窮屈かもしれないと思っていました。ただ、神奈川でもいろいろな外遊びを見つけれそう、少しずつ楽しみが増えてきています。今いちばんやってみたいのは木登りです。



水痘の苦しみを乗り越えて (文・写真 森 大幸)

2月22日、大阪マラソン2026に出場してきました。昨年4月からトレーニングをはじめ、様々な大会に出場してきましたが、12月にまさかの水痘に感染。激しい頭痛と高熱、全身の発疹に見舞われ、回復後は右足首の痛みで5kmも走れない日々が続きました。「今回は諦めよう」と何度も迷いましたが、本番10日前に20kmを無痛で走りきれたことで「やっぱり出よう！」と決意。当日は大阪の街の途切れない応援に背中を押され、ギリギリのサブ4(4時間切り)を達成。レース中には大好きな小淵さん(コブクロ)と遭遇し、僅かな時間ですが一緒に走れて感激しました。自己ベストには及びませんでしたが、あの絶望的な状態から復活し、気持ちを切らさずに完走できたことは何物にも代え難い喜びです。来シーズンは自己ベスト更新、そして数年後にはトライアスロンの最高峰「アイアンマンレース」完走を目指して走り続けます！



「とっぴあ」として責任編集に約1年ぶりのカムバです。この1年でまた、世界は変わりました。数年があり、ポテトテラスの窓が白黒になりました。私の大好きなAKMUは12年間所属したYGエンターテインメントを離れ、新たに設立した事務所から素晴らしいニューアルバムを引っ越してカムバ。ソフィアもお引っ越し。AIは超絶進化。でもここだけは手書き

人カ後記

